

新産地報告 (14)

上野 勝典*・上野 由貴枝

New localities of some plants in Nagano Prefecture (14)

Katsunori Ueno* and Yukie Ueno

オオサクラソウ (サクラソウ科)

Primula jesoana Miq. var. *jesoana* 写真 1

・松本市安曇 1700 m 2021 年 6 月 7 日

落葉広葉樹林の急斜面で、オオサクラソウがあちこちに咲いているのを見つけた。オオサクラソウは長野県では県北部の雪の多いところで見かける植物ではあるが、それ以外では、中央アルプスの一部 (奥原 1971) に見られるくらいで、分布は限られている。本種は長野県以北に分布しており、日本固有の植物である (加藤・海老原 2011)、変種のエゾオオサクラソウ var. *pubescens* (Takeda) Takeda et H.Hara は北海道に産する以外に韓国にも自生しているようである (私信)。



写真 1 オオサクラソウ 松本市 2021 年 6 月

イナヒロハテンナンショウ (サトイモ科)

Arisaema inaense (Seriz.) Seriz. ex K.Sasamura et J.Murata 写真 2

・伊那市伊那 2021 年 6 月 12 日

じめじめした落葉広葉樹林林下に本種が点在してほぼ花が終わった状態となっていた。周囲ではかなり広い領域に数株ずつ点々と生育しているが、個体数はあまり多くはなかった。本種はヒロハテンナンショウ *A. ovale* Nakai var. *sadoense* (Nakai) J.Murata によく似ているが、腋部がやや大きく持ち上がり、付属体の先端が棍棒状に膨らんで表面にでこぼこがあるなどの違いが見られる。県内での分布は伊那谷の飯島町から安曇野市にかけてほぼ連続的に分布しており (長野県植物目録編纂委員会 2017)、今回はこれまで見つかっていなかった伊那市でも見つげられた。日本固有の植物で分布は長野県と岐阜県とされていたが (加藤・海老原 2011)、最近石川県からも新たな自生地との報告があった (瀬野 2021)。長野県で見られるものと形態的に異なる点も見られるという。これまでヒロハテンナンショウと混同されている可能性があり、今後分布がさらに広がる可能性がある。



写真 2 イナヒロハテンナンショウ 伊那市 2021 年 6 月

*Corresponding author: hqi06262@nifty.com



写真3 シテクモキリ 松本市 2021年7月

シテクモキリ (ラン科)

Liparis purpureovittata Tsutsumi, T.Yukawa et M.Kato. 写真3

・松本市安曇 2021年7月11日

林道わきに点々と本種が生育しているのを見つけた。本種は Tsutsumi 他 (2008) により新種として近年報告された種ではあるが、かなり以前からクモキリソウ *L. kumokiri* F.Maek. とは異なる種として認識され、チクマクモキリ、フガクモキリ、ナンブクモキリなどと呼ばれていた (高橋 1987、奥原 1992、Tsutsumi 他 2008)。唇弁の基部に紫色の斑点があり、唇弁と蕊柱の形状に違いがあるとされ、唇弁がクモキリソウのように大きく内側に巻かず、正面からも形状が良く見えて簡単にクモキリソウと区別可能である。日本固有の植物で北海道、新潟県、長野県の分布とされる (加藤・海老原 2011) が、高橋 (1987) では岩手県産の写真が出ているので、もう少し分布は広いものと思われる。長野県では蓼科山、上高地での記録があり (長野県植物目録編纂委員会 2017)、今回の場所は上高地に近い。以前白馬村でも観察したことがある。

キソエビネ (ラン科)

Calanthe alpina Hook.f. ex Lindl. 写真4

・伊那市伊那 2021年7月21日

落葉広葉樹林下のややがれた斜面にキソエビネが

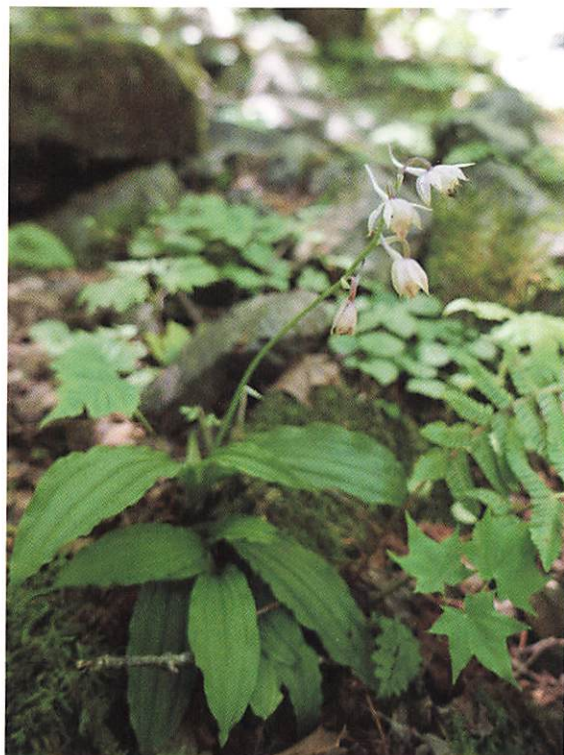


写真4 キソエビネ 伊那市 2021年7月

一株だけ開花していた。周囲を探したが他に見つけれなかった。他のエビネ類と比較して花の距が長く、唇弁が円形の筒状をしているなどの特徴がある。本種は南アルプスや木曽谷での記録があるが、伊那谷での記録はなかった (長野県植物目録編纂委員会 2017)。以前木曽谷で観察したことがあるが、個体数が少なくほとんど見かけることはない。

引用文献

- 奥原弘人 (1971) 木曽谷の植物. 信毎書籍印刷.
 奥原弘人 (1992) 信州の珍しい植物. 信濃毎日新聞社.
 加藤雅啓・海老原淳編集 (2011) 日本の固有植物. 東海大学出版会.
 瀬野純一 (2021) 石川県新産のイナヒロハテンナンショウ (サトイモ科) とその特徴. 植物研究雑誌 Vol.96, No.6 : 348-351.
 高橋勝雄 (1987) 日本野生ラン花譜. Vol.3. 毎日新聞社.
 Chie Tsutsumi, Tomihisa Yukawa and Masahiro Kato (2008) *Liparis purpureovittata* (Orehidaceae)-a New Species from Japan. *Acta Phytotax. Geobot.* 59 (1):73-77.
 長野県植物目録編纂委員会 (2017) 長野県植物目録. 長野県植物目録編纂委員会.